



詩  
画  
集



ま  
あ  
だ  
だ  
ヨ  
Ⅲ



b



やまのうえの  
山  
上

東日本大地震で転倒

むらひと  
村  
人



暗詩くら

(いままで)

さび詩

かな詩

いた詩

かゆ詩

くや詩

なぐりた詩

むずか詩

はずか詩

みたくな詩

命みじか詩

かえりた詩



たの  
楽詩

(これから)

うれ詩

なつか詩

おもしろ詩

やさ詩

あいた詩

まちどお詩

うつく詩

(愛)いとお詩

うたい詩

めでた詩

仲よ詩

ありがた詩



アキアネ・クラマリック

もくじ

お酒	8
記憶	0
自慢	2
名刺	4
用事	6
チャネリング	8
理由(一)	0
理由(二)	2
素朴な願い	4
祈り	6
通りすぎるもの	8

2 2 2 2 2 1 1 1 1 1 8  
8 6 4 2 0 8 6 4 2 0 8



キツネつり 都幾川村

いのち  
自分史  
風  
かくれんぼ  
額縁各種  
代表  
フラッシュモブの顔  
誰かに伝えたい  
ススメの国  
アンデルセンのことば  
勿体ない

50 48 46 44 42 40 38 36 34 32 30



満月の埼玉古墳

贅沢三昧の日々

仁王の足の下

なぞなぞ

あるだけでいいもの

ポイ

幸せ

一匹の羊

5  
2

5  
4

5  
6

6  
0

6  
2

6  
4

6  
6





## お酒

嬉しい時はお酒を飲みたくなる

またまた乾杯

神棚にも上げます

神さまもお一つどうぞ

嬉しい酒は一人でもよいが二人なら尚楽しくなる

悲しい時のお酒は一人で飲む

お酒には心の痛み止めが入っているのでやがて眠つてしまう

酔いが廻ると飛ひてん天が現れ酒を注いでくれます ※

寂しい時もお酒を飲みます

タヌキが「まア、カタイことはナシで」と徳利を傾けます

それで日々欠かさず夕食代わりに飲み続けたのです

「今夜も飲もうぜ」

夕方になるとお酒の背後霊が現れ誘いの口笛を吹く

お酒を飲まない人には幸せがないのか

不思議に思い幾日かお酒をやめてみた

飲まない人の世界を発見し驚きました。何と

ビールなしで焼き鳥を美味しそうに食べている！

日本酒なしでおでんを満足そうに食べている！

飲む人と飲まない人がいます

どちらが幸せな人生なのか

お酒を飲む度考えます



## 記憶

去年までそこには大きなくぬぎ桐の木があった

その前年も その前年も

ここに来れば昼も夜もその木があった

その木を見て子供は大人になった

久しぶりに帰郷した者は桐の変わらぬ姿に安堵あんどした

そんな古木を切らないで下さい

心ある人々が嘆願したが

道路工事のためその桐は予定通り一日で伐採はっさいされた

その夜ねぐらを失った鳥たちはどうしたのだろう

その木に住んでいた虫たちは何処どこに行ったのだろうか ※1

そんな古木を切ると たたりがあると噂されたが

その後木を切った人達は無事暮らしている

かつて柵があつた空間を見てみると

私に語りかけるものがあつた

「一度在つたものは無くなることはない ※2

いつかこの地球が消え

この宇宙の全てが消えても

一人の心に刻まれたことはいつまでも私が覚えている」

そんな声を私は聞いた



イプシロン 夜光雲

## 自慢

耳を動かせる人がいます

念力でスプーンを曲げられる人がいます

「勿体ない」と曲げたスプーンを元に戻せる人がいます ※1

楽器を思うままに弾く人がいます

風景でも似顔絵でもスラッ描いてしまう人がいます

私には特技がないが死亡率トップのガンをやったのが自慢です ※2

父親は若くして胃ガンで死去、母は血液癌の白血病

弟も胃ガンで十年前に死去しています

私もある日遂に一時停止違反でパトカーに追われるように

第二ステージの角でガンに捕まりました

結果二週間の入院手術を終え退院しました

病院から釈放される時、主治医にキビシイ目で伝えられました

「貴方はガンの家系であり特に長期間の習慣的飲酒が主因である

退院後は酒を断ちなさい。約束できますか」

「ハア…」私は目を伏せました

退院三日後から夕食抜きで酒を飲んでいきます

一度ガンをやったものは刑法犯と同じです

退院しても執行猶予の前科者同様保護監察下にあり

一年毎に病院に出頭して検査を受けるのです

ガンの保護観察期間は五年。私まもなく刑期を終えます

諸々の健康法を無視して遂に平均寿命を越えました

## 名刺

人は外観だけで判断してはいけないのです

(中身はもつとヒドイ人もいるのです)

自然にあるものは外観が大事です

外観の美しいものは中身も美しいのです

冬空の中に立つている木立をみて感嘆しました

貴方は見かけが素晴らしい

「はい 動かないで」写真を一枚撮らせて貰いました

藪の中の小枝が揺れました

冬のウグイスです

美しい姿に見とれましたがお近づきの印にとしるし



名刺を探しているうちに飛んでいつてしまいました

(ウグイスさんには名刺でなく木の実を差し上げるべきでした)

名刺が要るは人間の大人だけです

犬にも猫にも名刺は要りません(ウチの犬にはあります)

自然の中では自分個人だけで生きているものはいないので

国籍の違う隣同士の子供は

名刺を交わさずすぐ仲良しになります

私 こういうものです と

誇らしげにお渡しする名刺はありません

子供の頃夜中に目が醒め「おれは誰だ」と叫んだ

未だ自分がまだ良く分からないのです

平成19年6月 蓮田市生れ  
埼玉犬 双子座  
氏名 モコ 雄  
特技 宝探し ココ掘れ ワンワン  
勤務先 大畑電研(株)警備課



## 用事

動いているものは皆用事があるからです

スケジュールに追われて一日を忙しく過ごす人がいます

あまり忙しくない人もいます

病気で寝ている人や老人ホームの方です

休日の私もほぼヒマです

(休日はプライバシーを尊重し親族以外は訪問しないのです)

子供は赤ペンがないので思いつくまま動きだしますが

大人、特に老人は／それはつまらない／止めておこう／

／わざわざ出かけるほどのこともない／…と呟き

次々赤ペンで消していき朝からウチにしていることになります

そうしてこの世に何も用が無くなつていくのです

「そんなことはどうでもいいから散歩に行こうヨ」と

朝夕飼犬が哀れポイ声をだして私を誘います

何のご用か垣根の隙間を潜り隣家に行く猫がいます

住宅街から林に続く小道でタヌキと目が合いました

あつちの方からうちの方へ飛んでいく二羽の野鳥がいます

足下に目をやると蟻が数匹動いていました

動いては立ち止まる蟻がいました

耳をすますと何か呟いていました

「三百年前ここで誰かに逢つた気がする

この辺りに大事なものを無くした気がする。覚えてない？」

「記憶にございません」



本当に何処から来たんだろうね

## チャネリング ※1

大正時代の終わりの1925年あたごやま愛宕山から

「アーアー 聞こえますか JOAK JOAK」と電波が流れた

その後長い間放送はラジオ放送のNHKの1CH(チャンネル)だけであった  
今は地上波の他にCSもありネット放送を数えるとCHは数え切れない  
多く情報を得て誰もが横丁のご隠居より博学である

それにより人はどれだけ賢くなっただろうか

人の世はどれだけ住みよくなっただろうか

二ヶ国語分かる人は二倍幸せか

十ヶ国語分かる人は十倍賢いか

国会では日本中から選ばれたばば五百名のエリートが

同じ情報を得ながら真逆の論理で罵倒しながら争っている



プレデス星団

大声には耳を塞ぐがかすかな音に耳をすます人がいる

彗星搜索家の木内鶴彦は星空の声を聴いた

それはバツハのチエンバロ協奏曲第三番であった

バツハは三百年前同じ星空の音を聞きそれを楽譜に写したのである

身近な世界でも同じ国の言葉でも通じないことがある

CHを開くチューナーがないのである ※2

人間と会話を止めた神の子イエスは黙って地面に何か書いていた ※3

巨大なバベルの塔は言葉が通じなくなつた時瓦解した

「聞き耳頭巾」の伝説がある

聞き耳頭巾を被ると一羽の雀が何か大事な事を伝えてくれるかもしれない



理由(一)

〈この世界の意味は何か〉

名門の第一高等学校に入学した十七歳の藤村操はナマイキであつた

英語教師の夏目漱石にわけもなく反抗しこの世界にも反抗した

檣の幹を削り「世界は不可解」と漢詩を書き華嚴の滝に飛び込んだのである

百年後の今も自殺者は絶えない

大半の原因は病苦と経済苦及び人間関係である

若者が五体満足で死ぬのは贅沢である

それ以降華嚴の滝は自殺のメッカとなり

四年間で一八五名が滝壺へ飛び込んだという

あなたには家族がいたはずである

みなあなたの死を嘆かない人なのか

それに思い至らぬあなたは何か欠けている

生まれてきた子供の為に懸命に働く母がいる

それを見て育つた子は早く母の為に働きたいと思う

ホレーシヨの哲学などどうでもいいことだ ※1

激しい恋の果ての失恋なら理解できるが

本当に哲学的懊悩<sup>おうのう</sup>だけで自殺したというのなら

それは英才教育が産んだ不幸なキメラでは無いかと思う

※2



バリ島 影絵芝居

## 理由(二)

〈この世は何のためにあるのか〉

〈自分がこの世にある理由は何か〉

分らない永遠などと云う言葉を外し

〈ここだけ〉〈いまだけ〉と限れば

そんな疑問が消えて様々な世界が広がってくる

恋にまだ陰かげりが無い時のベンチに座っている二人の時

良い音楽を聴いている時

思わず見上げた美しい虹や夕焼け

一人では勿体ないと屋上に登って見る花火

親しいものと美味しいものを食べている時

母の手の中で寝ている赤ん坊

寝ながら笑っている赤ん坊

母にとって世界はそれだけでいい

外に出れば早春の日が溢れ

小さな命の一羽のスズメがいる

みな自ら捨てる程の時をもたない

今日一日を咲いている野の花

短い人の世ではあるが雨上りに輝く露のように

ただそれだけでいい世界がある



アキアネ・クラマリック

## 素朴な願い

キリスト教　イスラム教　仏教　神道しんとうその他

この世に様々な宗教がある理由

そして昔から神さまの姿が様々ある理由は

情報不足のまま人間が作り出してしまっからです

神は人間の姿をしたものだけでなく熊や豹や蛇までいる

本当の神様が現れないためです

恐ろしいものや悪者が現れて

年寄りや女子供を苛めたとき

悲鳴を聞いて男の私は助けに行きます

でも悪者が大勢いたら立ち止まります

一人でも自分より強そうな者がいればすぐ止めます

悪者や強い者はそんな私を見て嘲笑わらいます

中には手伝えと命令され手伝う者までいます

こんな時神さま(お手伝いの天使でもいいですが)

必ず「どこでもドア」から現れて悪者を退治したら

この世に悪者一家は生まれません

神様はいると思います(いないと困ります)

ただ、御多忙のため回線は繋つながらず手遅れが多いのです

「黄金バット」のように即、激しい光りと音響で登場しないので ※

自信たつぷりに様々な説を説く人が大勢いて困っています

神様は何度も現れたようですがその都度人間に返り討うちにされてしまいました

今度こそ「静まれ 静まれ」と光る印籠を掲げ現れて下さい



アキアネ・クラマリック

## 祈り

子供三人、一人は障害者の家族です

家族は少ないが幸せを祈る相手は多いのです

特定の宗派は無いので祈るのは歩いている時／

寝るまえの一時ひととき／一人で食事をしている時／

気が向いた時のフトした時間です

手紙と電話でしか知らないが友人の娘がいる

会ったことはないが年に数回音沙汰のある人がいる

少し知恵遅れの優しい少年がいる

一人暮らしの男と女がいる

散歩道で出合う子供達がいる

時々出合おうと笑顔で話せる人達がいる

みんな幸せであるように祈ります

若い時代と違い何故か女性もいます

昔へお友達ならいいけどと恋人役は何度か断られたけど

思えば恋人は定員一人、友達は無制限でこの方が特です

人類愛にはほど遠い身近な世界のことです

人並みはずれて勝れた人は人類の宝です

でもいつも傍にいと凡人は気が疲れるでしょう

私の良いところは約平凡のうえ平凡以下のものが多々あるところです

そんな私の短い祈りはリングオーケ。百円玉に及ばないと思います

ただそう思つて祈るといい音楽を聴いているのと似て

一時自分が幸せになるのです



アキアネ・クラマリック

## 通り過ぎるもの

何処か<sup>どこ</sup>で私を呼ぶ声があった

振り向いたら走り去る人影が見えた

見えず聞こえず触れられず

掌の中を通過する音と画像の無数の電磁波

空気中に棲む<sup>す</sup>というスカイ・フィッシュ ※

透明な魚で希<sup>まれ</sup>に高性能カメラに写ることがある

夜行列車が通り過ぎる無人駅の数々

「ここなら見えるよ」

木に登れば見える町外れに続く田んぼ、川にかかる橋

屋上に上れば見える遠花火

バックミラーをしきりと攻撃する野鳥がいた



スカイ・フィッシュ

鏡の中の鳥は縄張りを侵す敵であつた

ある日私は鏡を見て愕然とした

ここに居るのは自分ではない

本当の自分は木に登つたまま今も降りてこない

大腸管の細胞は三、四日で作られ一、二日で排泄

身体の細胞の大半は三ヶ月で更新する

三年ぶりに会つたあなたは別人である

この世にあるものは変わらなければならない

「止まれ」と叫ぶと みな一枚の絵や彫像になつて死んでしまふ

変らないものがある

愛するものは みな 美しくて 哀しい



金昌寺 慈母観音

## いのち

木は自分が木だと信じている

だからそこに自信にみちて生えている

ネコは自分がネコだと思っている

ネズミは自分がネズミだと思っている

テントウム虫はテントウム虫であることにさほど自信がない

私が尋ねると困って葉裏に隠れてしまう

野にあつて雀の命は二、三年

食べることに 逃げることに それ以外のことは考えている暇が無い

雀と比べると長いようだが

犬の命は一七、八年。人の青春時代に老と死を迎える

この世界には様々な「いのち」がある



いつ誰がそのカタチといのちを与えたのか

スマイルはいつスマイルのいのちを選んだのか

蝶は蝶を選ぶことは出来ない 既に蝶だから

人間のいのちが特別にあるわけではない

大物 大学者 大美人 ライオン 富士山

強いもの 勝れた者 美しいものは自分に疑問を持たない

自分についてつまらないことを思いつくのは

道端にころがっている石 とか 掘り出された木の根っこだ

ある日 在つても無くてもいいもの その大勢の方へ

天からメールが届いた

この世界で役に立たないものは別の世界で出番があります

それから私は毎日を幸せに過ごしています

これでいいの  
だ



## 自分史

自分は何時からこの世にいるのか

私は恥ずかしくて自分史は書けない

私の先祖は百姓で江戸時代の先は草深い墓地に消える

それに比べ友人の先祖は鎌倉時代に続く武士である

胎児はヒトの過去帳、5億年を十月十日で再現する

以下寅さんの口上くわじょうになります

人類 生れも育ちも海底です。熱水噴水孔の境内で産湯を使い

不思議な縁をもちまして 様々な化学変化のあげく古代魚と発します

両生類 爬虫類 哺乳類 霊長類 ホモサピエンス

胎内では一日160万年 人類史が早送りで見られます

(67万年/時 1万年/分 180年/秒)

賢者も愚者も、ハプスブルク家、メデイチ家、ブルボン家も

みな。パンツも穿かず樹上や岩穴に棲んでいたのだ

尻尾の痕跡、犬歯、男の乳首ETC

もはや云い逃れは出来ない証拠の数々

動物の原型は雌で雌雄同体、雌雄異体は生物学の常識である

アダムとイブは逆でイブは先に生まれていたのだ

思い起こせば恥ずしきことのかずかず

輪廻転生 過去世私はヤモリだったこともあるのだ

鼻白んだ私は水槽のシマドジョウに尋ねた

「私を覚えていますか」



記憶に  
いませね  
が

## 風

初めて自分を発見したのは水辺の動物である

鹿は水面の優しい目をしばらく見ていた

帰ると群れの中には多くの自分がいた

黒豹はおぞましいその顔に嫌悪を感じた

水面から顔を上げると波紋が消えた向こうの自分と

しばらく睨みあつたあと別れた

人のココロは水や空気と同じで形がない

形がないものは形ができるとホツとする

ヤドカりは巻き貝の殻に入り込みその形が自分だと満足する

ヒトの形は巻き貝よりも多い

上下があり大きさがあり美醜びしゆうもあり様々である

しばらく憑依ひょういしているとそれが自分だと思い

気に入った形だと何時までも残るように石像や銅像になる

己の姿に陶酔したナルキツスはスイレンになつた

何か一つのものになると他のものにはなれない

人生に三度失敗した杜子春は ※

「何時でも 気ままに 成りたいものに成れる のがいい」と気づいた

その後仙人になれなかつた杜子春は故郷に帰り風になつた

風なら誰にでもなれます



照林寺 子安観音

## かくれんぼ

かくれんぼの楽しみは

居なくなつた者が必ず見つかることです

木の下の履き物をみて「見つけた」と叫ぶ鬼

木の上の笑い声

かくれんぼは子供達の遊びのようだが

この世界はみなかくれんぼばかり

昨日まで居た者がいなくなり

さつきまで在つたものがなくなっている

真昼の空から太陽が消え星空が現れることがある

極北の地では四ヶ月も太陽が出ない季節がある

ようやく水平線に太陽が顔を出す日

零下20度の海岸に子供達まで出迎えるという

消えたものが現れるのに多少遅れるのは良いが

無くなっているのは違反です

大切なものを失い悲しむのは人間ばかりではない

帰ってくるかと巣がなくなっている小鳥がいる

その小鳥はその夜どここの枝に寝たのか

小さなものを一つ無くした夜の幸せ

思えば残っているものがまだまだ沢山ある



## 額縁各種

ある病院の壁に外国の大学の写真があつた  
そこを卒業した院長の誇りである  
連想したのは魚拓だ

合格率で一番厳しいのは

中国の科挙の試験である

隋から清まで千三百年続いたが廃止された ※

進士はクイズの合格者であるが

実務社会では役に立たぬ者ばかりだつたからだ

徳川時代では寛永御前試合の勝者である



雲一つ無い空

荒木又右衛門(柳生新陰流)と宮本伊織(新免二刀流)は相打ち

主審 大久保彦左衛門とある

池に泳いでいるのは高価な鯉である

床の間の壺は鎌倉時代の逸品である

仲睦まじいクモの夫婦がいる

御主人は「おれが生け捕にした」といい

おくさまは「私のワナに掛つた人です」と思つて幸せ

私の自慢はプレハブ小屋の壁に切り込んだ額縁である

板ガラスだけなので季節の夕焼けが見事です



夕焼け

## 代表

ネコはネズミの代表にはなれませんが

ネズミはネコの代表にはなれません

代表はその仲間達の気持ちに分かるものになるのが本当だ

トドは身体が大きなものになる

サルは格闘技で勝つたものになる

人類史は猿人と別れてからまだ日が浅い

いまだサルと同じでナンバーワンやオンリーワンがその候補である

でも人間で一番多いのは並の人間や欠点をもつ人間である

その類たぐいのココロはナンバーワンやオンリーワンには分からない

その点私は同類として代表者になれる自信があります

神さま 私は長い経験と実績から検証し

深遠な思想や厳しい修行はだめです

求めながら残り時間が少なくなつてしまいました

空を飛べなくていいです

たいていの場所は電車で行けます

カタイことは云わず一つだけヒーリングの力を下さい

とりあえず身近な人の病を癒やしたいのです

神さま もしそれもだめなら私に妖あやかしの行わざをお与え下さい

その人が望む姿になつて五分くらい現れます

一言声をかけるだけでいいのです

「いつも貴方の傍にいますよ」

もし、それも叶えてくれぬなら

「神さまつてずいぶんとケチな方ね」と評判を落としますよ



最近評判よ  
くないよ





何だかジーンとき  
ちやう。



心にしみるわ。

フラッシュ・モブの顔



泣けちやう。

いいなあ...



ほんと。

・祈  
アッ・ユー  
♪ ヴーシイズ・ミー



you raise me up  
(ユー・ライズ ミーア  
ップ) 日本では荒川  
静香のエキジビション  
曲で知られた。



いいじゃない・  
・・・。

MARTIN・HU  
RKENS。  
プロ歌手よ。



素敵！

うーん。



いい歌ねえ・・・。

うまいなあ。



お母さんに云われ  
たので百円入たよ



おじさん。何してるの。

誰かに伝えたい (王様の耳はロバの耳！)

急に誰かに伝えたくなり立ち上がることがあります

でも急いでいる人の足を止めたり

忙しい人の手を止めたりすることではないです

(一)

声が聞こえたので立ち止まると

道端の花が私を見上げていたのです

百人の子供が集まり 何か話している 笑っている 泣いている

散歩道の土手で一斉に咲いた野の花の

楽しそうな話し声が聞こえた

(二)

母親の背の幼児と目が合った

天使の瞳が私を見て笑っていた。

(三)

「こないだいい音楽がある！」と感動することがあります  
…大概、昔そんな歌あつたね… という事になるので  
寝ている人を起こしてまで伝えることではない

(四)

ある本のある行で視線が止まることがある  
涙がこぼれる前に本を閉じて立ち上ります

「嗚呼。こんな人間がいる！」

「こんなことをしている人間がいる！」

こんな時は何処に電話をかけたらいいのでしょうか

110番でも119番でも誰でもない誰かです



## スズメの国

病院はありませんでした

墓地がありませんでした

平均寿命が一、二年のスズメの国のことです ※

スズメより短い命があります

コオロギは一年足らず

かげろうやユスリカは一夜の命

カラスが利口なのは十年、十五年も

上から目線で人間界を見ているからです

三十、七十年も人間を観察しているのはオウムです

いつか「高い席から一言」など人の真似をする

猫の寿命は二十年。それ以上長生きすると化けます

縄文時代 人間の平均寿命は二十歳前後

幼児と青少年の国だった

認知症になつても生きてるのはこの時代だけです

カラスは定年になると異次元の闇に消え

象は群れの役に立たなくなるとひっそりと立ち去る

前世私はスズメで最期はヤキトリだった

生まれ変つたら何になる

私は沢山のバケツを持つた雲になる

枯れかけたナツメヤシに雨を降り注ぎ

砂漠に一面サフランの花を咲かせます



## アンデルセンのことは

マッチ売りの少女は凍えて死んだ

人魚姫は泡となって消えた

アンデルセンの童話はハッピーエンドではない

「それじゃ、まるで現実そのものじゃないか

とても子ども達に聞かせる話じゃない」

出版当時のデンマークでも評判がよくなかった

中でも可愛そうなのが人魚姫である

マッチ売りの少女は死んだあと幸せを得た

優しいおばあちゃんと天国に行ったのだ

人魚にも戻れず人間にもなれなかった人魚姫はどこに行ったのか？

人魚なら三百年幸せに生きたあと美しい泡になる

泡の中で永遠の夢をみるのだ

お姉さん達は大きな泡になつた

人魚姫は十七年生きて小さな泡になつた

あの世があればこの世で報われなくても良い場合がある

もの言えぬ女の気持が分からぬ男は人魚姫には相応しくない

アンデルセンの生涯は失恋の連続で生涯独身だつた

人魚姫はアンデルセンだつたという

「神はある。私の生涯をみれば分かる」

「すべての人間の一生は神の手によって書かれた一編の童話である」

あの世に旅立つ前のアンデルセンのことばである。



勿体ない

(一)

かつて「ライオンズクラブ」に入っていたことがあります

「貧しい人や恵まれない人に上から目線でモノを恵む」

と思つている人もいてマザー・テレサに笑われました ※1

豪華な会食では多くの料理が残りました

「勿体ない」と思う人もいた筈ですが

「いじましい」「紳士のやることではない」

ライオンズマンの矜持きやうじがありました

手を付けない自分のテン普拉やウナギを持ち帰る者がいました

矜持の持ち合わせがない男、私です

気の毒そうに見ている方がいました

「犬にやるんだ」と包んで貰う人もいました

帰ってから犬年の奥様に頭を撫でてもらったと思います

(二)

「今夜は満月だよ。一晩中でているよ」

わざわざ電話してきた人がいる

窓を開けると本当だったので

「ウチにも出ているよ」と電話を返した

他に用はなかった

一人で見るのは勿体ないと思ったのである

夜更け トイレの窓から更待月ふけまちづきがでていた ※2

下弦の月が何かモノ言いたげに見えた

誰かに電話しようと思ったが止めた。深夜である

(三)

沢山あるのでまた



ぜいたくさんまい  
贅沢三味の日々

菜の花料理は花の芽です

摘まなければみな花になるのです

一皿分で百匹の蝶が満腹します

和えものもおひたしも人間の贅沢品です

ぶっかけ卵 レンピ

暖かいご飯に卵を割る 醤油をたらす かき混ぜる

鯉節などあれば申し分なし

昔、貧乏家族に卵は贅沢品だった

家族で醤油に一ヶ卵を割りご飯に少しづっかけあい

「美味しいね」と食べた

バタタラクコレシビ

暖かいご飯にバターをのせタラクを混ぜる

思えば一片のタラクは数千匹の成魚になるはずだった

申し分けない、けど美味しい

昔一人暮らしてたときの私の発明品です

高そうなお酒を貰った

それだけで呼ぶ人が思いあたらず一人で飲んでしまった

戦中、戦後「ばくだん」という安い合成酒があった

メチルアルコールは体内で毒物の蟻酸ぎさんを生成した

ときには失明するものがいたので「目散ーる」と警戒された ※

「勿体ない」と思う心がアダとなり晩年私は見事に肥満した



木漏れ日の下で咲いてる堇

## 仁王の足の下

天災には誰も文句を云わない

人が割つたものなら窓ガラス一枚でも激高するが

台風で屋根を飛ばされても

火砕流で家が押しつぶされても誰もが諦める

災害が不満をひきおこすのは人間に限られる

不満には一人一人全てに充分な理由がある

不満が深まると怒りになる

不満や怒りはいくら話し合っても

どちらが正しいかでは解決しない

双方が正しいからです

そこからは いつでも どこでも 人は



南房総市 延命地藏尊

爬虫類の昔に帰り爪を使い牙を使い力ずくの戦いになる

争いで一番良い形は力が互角の場合である

十回叩かれれば十回叩き返し

片方が腕を失えば相手も腕を失い 足を失えば足を失う

こちらの家族の誰かが死ぬれば相手の家族の誰かが死ぬ

恍惚<sup>こころうつ</sup>としてどこまでも争い最期は荒野で対決して共に息絶える

人類は共に何度も滅んでいる

モヘンジョダロ(死の丘)の古代遺跡には核戦争の形跡があるという ※1

争いは征服者、被征服者が明確になるのが悲惨だ

仁王に踏まれている醜い生きものがある

破れた者は生まれ変わり死に変わり邪鬼<sup>じやき</sup>や大蛇<sup>おろち</sup>の姿となる ※2



こんな顔にすねちゃって…

なぞなぞ

ありそうでないモノ　なアんだ

唇気楼　幻肢痛げんしつう（失つた足が痛む）

催眠で抱かせたスリツパが子猫になる現象

夢の中の出来事

時々現れるモノ　なアんだ

一年に数日顔を出すもの　桜の花　白木蓮　金木犀きんもくせい

すぐ消えてしまう　虹、掌の雪の結晶

いつか無くなるモノ　なアんだ

人の約束　風の音信たより　身体　記念碑

来る度変化する彗星 地球 太陽 銀河

あるかないか分からないモノ なアんだ

自分 ココロ UFO あの世

見えないココロは何処にある

身体影なら脳と共に無くなる筈だけど…

移植した内蔵がドナーの好みを覚えている

人によつて在つたり無かつたりするモノ なアんだ

ロールシッパハカード 壁のしみ 神様 ホトケ様

好みの音楽人様々 学者の意見いろいろ

在るもののもとにあつたモノ なアんだ



始めのカタチが人のココロにあつた 水瓶も刀剣もとうけん

ココロは身体ができるまえからあつた

誰にでもココロに残る風景がある

一人帰つて来た日の夕焼け

母の言葉

生後三ヶ月女兒の写真がある

※

アンヨもできない

言葉もない

持つてきたのは天使の瞳だけ



生後3ヶ月の女児

「よみがえる女神」 清水友邦著より転載

あるだけでいいもの

選ばれたものが何故愚しい規則をつくり

何故愚しいことをするのか

何故今年も悲惨なことばかり多いのか

世の中はいつも何故ばかり

そんな世をどう考え、どう生きたら良いか

様々な批評家や指導者の声を聞き書物を読みます

時折先祖帰りした私の嗅覚が不安を捕らえる

私はオオカミのように後退あとずさりする

その人の前に私はいないし 誰もいない

その人の前にあるのは自分の鏡だけ

人に教えを説く優越意識で言葉を並べている

私が特定の宗教の信徒にならない理由があります

人は自分に都合の良い言葉を選び

好きな曲に耳を傾けます

私が私の都合で選んだ聖句があります

…私の考えや感じ方に感動する者は

家来ではなく友である…キリストの言葉です

この方なら家来の家来で光栄です

この天<sup>あま</sup>ケ下<sup>した</sup>に あるだけで いるだけで 良いものがあります

「1/4の奇跡」の山元加津子さんの生き方をみると

何故障害の児がいるのか

赤い花が何故赤いのか

蝶は何故トンボでなくて蝶なのか 何故が消えます



大地をふみしめれば

雪絵ちゃんと山元加津子さん

## ポイ

子供ッポイ 女ッポイ 男ッポイ 愚痴ッポイ 湿ッポイ イガラッポイ

白ッポイ 黒ッポイ キザッポイ 怒リッイ 嘘ッポイ …

ポイ は何処か怪しげなので ポイはポイツと捨るのがいい

孫ッポイ声で ばあちゃんを騙す振り込め詐欺

花の姿で獲物を狙うハナカマキリ

外国人ポク歌う日本の人気歌手

日本人なのに半分カナ名のタレント

ポイはお面やコスチューム・仮装行列には必要です

物事の真偽しんぎは大衆には分かりません

人気TV番組「開運・なんでも鑑定団」を見れば分かります

お宝が千円か百万円か その筋のセンスに聞くまでは分かりません

まるで「シユレディングアの猫」と同じです ※1

困ったことに偽モノの方がホンモノより見栄えが良いものがあります

真面目そうなNHKのアウンサーなら時々嘘をついても分かりません

タヌキは昔、山里に来る人を誑おどろかせたが

平成になってから戸籍を里に移し「忍者の草」になっています ※2

此処だけの話、タヌキやキツネがTVにでているの御氣づきになりませんか

分からないのは古美術品だけではありません

物事の評価も場所により時代によりソツチ系とかアツチ系があります※3

それにより少し違ってくることもあり真逆もあります

自分は裁かず他人を裁く正義漢は大勢いる

我が儘者ままとの一人の決め事も困りますが愚者の多数決はとりわけ迷惑です

人の判断で多くの聖人たちがこの地球では前科者になっています



幸せ ※

思い出すと嬉しくてなかなか眠れない

明日は明日で 楽しくて なかなか眠れない

寝ていて笑う子供がいる

過ぎた世界にもう一度戻っているのだ

夢のなかで 既に明日の世界にいるのだ

笑顔で亡くなっている人がいます

親しい人が迎えにきたのだ

迎えにくるのは神さまや仏さまだけではない

ココロ残りの人達がみんな来る

母がいる 子供も 先だつた夫や妻がいる

お弁当を作つて出迎えに来ている

時には犬や猫もいる

「お疲れさま」波止場や空港には出迎える人がいる

あなたが行きますか 私が行きますか

仏さまと神さまが譲りあうこともある

じゃ一緒に行くか ということもある

人が思う神さまにはいろいろな姿がある

人が思う仏さまにはいろいろな姿がある

仏さまと神さまが楽屋でメイキヤツプして顔を合わせて笑いだす

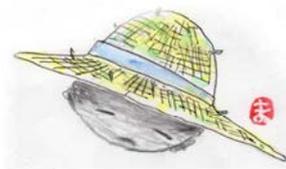
「おや 同じじゃないか」

母は必ず来ます

「母上」「お母さん」「ママ」「おつかア」様々な母がいます

私の母は「かあちゃん」です モンペを穿いているのですぐ分かります

※2



## 一匹の羊 ※

この世は厳しい

弱肉強食・自然淘汰・兄弟花を摘み取る摘花<sup>てきか</sup>

古代ギリシャでは障害者は生まれるとすぐ遺棄された

一ケの命のために数百から千ケの実をつける草の実

一度に数十万個産卵するスケソウダラ

この世界の仕組みは選ばれた者だけ生き延びるのだ

それで人の世も強い者が称えられる

この世には人災だけでなく天災もある

八十歳まで生きた釈迦は「サトリ」という諦めを説いた

三十三歳で処刑されたイエスはそんな人の世に逆らい

怒り悲しみ時には罵った(笑ったこともある)

あるときキリストは牧畜農家の者に説いた

一匹の羊の為には九九匹の羊をその場に置いて探しなさい

「勿体ないもんね」

「そういう意味じゃなくて 可愛そうじゃないか？」

「話になんねエ…」羊飼いは呆れて溜息をついた

多数原理は自然界の摂理である

神の子は創造主の父の世界に異論を唱えた

神の国はすぐ隣にある常識では理解できないが子供なら分かるといった

選ばれた多数の人達の世界は今も変わらない

一匹の羊は時を超え不思議な人を見つめている※



アキアネ・クラマリック

## 追伸

### お酒

8頁※ 起源はインドからオリエントに繋がる。古代ローマの天使は男女とも翼がある。  
天使はインドにきてから翼ではなく飛翔能力を供えた天衣を纏い天使から飛天と名称が  
変わった。因みに天使には男女がいるが飛天は女性にかぎられている。

### 記憶

10頁※ 1 樹液でクワガタ カブトムシ カナブン 蝶、スズメバチが集まる。虫の集まる木と  
呼ばれている。

11頁※ 2 そこには原始からの全ての事象、想念、感情の記録が記録されている。

### 自慢

12頁※ 1 越智啓子 精神科医 生まれながらにエンジェルが見え会話ができる。スプーン  
曲げなんてオチャノコサイサイ。曲げてから「勿体ない」とまた元に戻してしまう。

一見も二見も普通の不思議なおばさん。

※2 死亡統計白書(平成27年) 火災事故1、563人

交通事故4、117人 墮胎件数 約160,000以上

自殺23、121人 **ガン(悪性新生物) 370、131人 30年で倍増**

老衰死84、755(6.6%)死者総計129万と428人。出生5、656人

年約7.8%ず減少すると今世紀末で日本は無人口になる？

### チャネリング

18頁 ※1 自分とは異なる存在と交信、会話できること。

19頁 ※2 同調回路

※3 ヨハネ8章2-11

### 理由(一)

21頁 ※1 藤村操が楯の木に刻んだとされる遺書「巖頭の感」より



※2 ギリシヤ神話に登場する怪獣。キマイラ。

素朴な願い

25頁 ※ 劇的展開。ギリシヤ劇の定番。デウスエクスマキナ。錯綜した事態を強引に奇跡で解

決する安易な手法。

昭和初期の紙芝居の主人公黄金バットは不死身の悪の帝王黒バットを倒す正義のヒーロー。

昭和四十年代にはTVアニメで再登場。危機的状况で黄金のマントを翻し「ワツハツハ」の高笑いと共に登場した。

通り過ぎるもの

28頁 ※ 空气中を260km/hで飛ぶという棒状の未確認動物(UMA)

風

35頁 ※ 厳密にいうと人生に失敗したのは一回である。親の財産を使い果たし

た杜子春が洛陽らくようの西の門の下に佇みすがめばんやり昼の白い三日月をみていたところ眇



の老人が現れた。仙人であつた。それから二回仙人によつて大富豪を経験した。

最期は仙人になりたいという<sup>がびさん</sup>と、峨眉山に連れて行かれ仙人になるための厳しい試験を受けるが、最期に一言「お母さん」と叫んだため失格する。

全ては春の夕べ杜子春が洛陽の西の門の下に佇んでいた時仙人が見せた一時の幻覚であつた。似ている物語として「邯鄲の夢」「蘆生の夢」「黄梁夢」があります。

### 額縁各種

38頁 ※ 科挙の試験項目には「容姿」もあつた。李白も杜甫も、日本人唯一の合格者阿倍部仲麻呂もイケメンであつたと推測される。

### フラッシュ・モブの顔

42頁 ※ 雑踏の中や公共の場に予め申し合わせた者同士が予告なしに現れ、音楽、ダンスなどのパフォーマンスを行い、周囲の関心を集めた後解散する。一種のドッキリ企画である。

通行人を楽しませることもあるが迷惑行為である場合もある。

## スズメの国

46頁 ※ 平均寿命は二、三年とも一、二年とも云われています。個体数が減少しているので人間社会と違い平均寿命が短くなっていると思われる。人間が大事に育てると十年以上健康に生きているようです。「家族になった雀のチユン」竹田津実。その他海外の記録もあります。

## 勿体ない

50頁 ※ 1 昭和五十六年、マザー・テレサが来日されたときのことでした。

ライオンズクラブの代表がマザー・テレサと対談したときのライオンズ誌の記事です。「奉仕という点で貴方と私達は同じ事をしていますね」と水を向けました。愛嬌のない小柄のしわくちゃなおばさんの言葉です「いいえ、あなた方はそれをPRするためにやり、私達はその行為自体の為にやります」

この時のライオンズ誌の評価すべきことはマザー・テレサの言葉をそのまま伝えただけです。このときの日本はバブルの絶頂期でしたがマザー・テレサは「物質的には



豊かだが心の世界は貧しい」とニコリともしないで当時の日本を評しています。

51頁 ※2 満月(望月)の次は十六夜いひよ↓立待月↓居待月↓寝待月↓更待月と欠けていき、月の出も約五十分ずつ遅くなり日没後昇る満月より五時間遅れの深夜になる。日没の遅い夏期は十二時頃現れ、見頃は草木も眠る丑三つ時である。

### 贅沢三昧の日々

53頁 ※ 毒なのはメチールアルコールそのものでなく体内で変化して生成されるホルムアルデヒドと蟻酸である。一部の蟻は巣が攻撃されたりすると尾端の毒針から蟻酸を噴射するという。

### 仁王の足の下

55頁 ※1 SF的解釈と一笑する学者もいるが遺跡には高温で溶けたガラス質の石が散在している。自然界にはあまりない。核爆発によるものではないかと云う説が面白い。

※2 侵略者スサノオが勝れた製鉄技術を持つオコチ族を奸計かんけいを用いて滅ぼした上、娘のクシナダ姫まで拉致し自分の側女そばめにした、というのが真相。その悪徳行為を正当化するために

物語を作った。大蛇と関係のないオロチ族を「八岐大蛇」という妖怪に仕立てたのである。<sup>やまたのおろち</sup>

今も昔も情報操作は権力者の常套手段である。

なぞでなぞ

58頁 ※ 「よみがえる女神」

清水友邦著より転載



姫奈川姫の像  
(新潟県糸魚川市長者ヶ原考古館)

ポイ

63頁 ※1 量子力学 シュレディンガー 「死んでいるか生きてるか 開けるまでは生死不明の

猫」開ける前は双方の可能性が同居するパラドックス。

※2 敵地に住み込み敵地の住民と同化し、二代三代とスパイ活動をする。ホントかいな。

糸魚川市  
長者ヶ原考古館

※3 ソツチ系 アツチ系 最大公約数、標準系を外れた世界観をもち、時には「標準種」には理解しがたい行動をする異人種。一例 前世がシリウスとか プレアデス星とか。

幸せ ※

64頁 これは山元加津子さんの本を読んだ私の感想詩です。経歴にはあまり書いてありませんが理工科系の大卒です。この人の言葉はみな優しい日常語になつてしまいます。この人の手に掛かるとキリスト教も仏教もアニミズムも渾然としてしまい深淵な「般若心経」をこんなにも分かりやすく 優しく 解釈してもよいのか 啞然として感動してしまいます。

それでいいのだ



65頁 ※2 「モンペ」は袴のカタチをした女性の作業衣。太平洋戦争中ときの政府が「モンペ普及運動」をとえ普及させた。穿きよいので今でも販売されているという。

## 一匹の羊

66頁 ※名作には多くの解説があります。聖書の解説は牧師さんの数だけある。と皮肉つた人がいます。

昔(大正15年、昭和38年。千住の火力発電所)都内には「お化けエントツ」があつた。四本のエントツは見る角度によつてそれぞれ異なつた。物事は人に依つて違ふのである。

ただ違いは少しから真逆まである。その上に悟つてない人の特徴としてスキ、キライがある。念のため「一匹の羊」を調べた。改めて専門家の解説を知つて在庫の知識に一行加えた。更に気づいたのは解説と感動の違いです。ひと時教会に通つたことがあります。今もクリスチャンで「スキクナイ」人がいます。昔、詩の世界に首を突つ込んだことがあります。その世界

で芽が出なかつたせいかここにも「スキクナイ」詩人がいます。イソップ童話に取れなかつたブドウを「あれは酢っぱいブドウなんだ」というキツネの言葉です。

第二次大戦後の日本は文化面において、価値観において様々な転換が行われました。詩の世界はそれまでとは違う現代詩という世界に衣裳替えされました。旗手の一人がT・S・エリオットという方でしたがハズかしながら今でも分かりません。でもノーベル賞に関係なくタゴールは青年時代すごいと感嘆し、今も同じです。詩壇の郊外に住む八木重吉や明治前の終生芽が出なかつた歌人橘曙覧(たちばなのあけみ)へのたのしみはとぼしきままに人集め 酒飲め物を食えと言う時』とは気が合いそうです。そして宮沢賢治もフアンですが解説者の何人かはスキクありません。教会には行つてませんが聖書のところどころの言葉には感動します。





私家版詩画集 「まだだヨIII」

平成三十年五月五日

製作 手作り出版舎

〒349-0101 蓮田市黒浜3111の2

製作者 山 やまのうえのむらひひ七 上村人 戸籍名 大畑善夫

TEL 048-769-1191 ☎ FAX 048-768-0718

E-mail [ohata@ohdk.co.jp](mailto:ohata@ohdk.co.jp) <http://www.ohdk.co.jp>



